





今回は  
この二人が主役だ！

南栗橋で東武日光行の急行に乗り  
換える、



9時 下今市近くになると、日光連山が見えてきた。



定刻通り 9:16 に東武日光駅に到着し、割引フリーきっぷを購入して、中禅寺温泉行バス乗り場に並び



9:35 発の中禅寺温泉行のバスは、JR 日光駅が始発で、既に 8 割がた座席は埋まっていたが、我々二人は何とか座席を確保できた。大半の人は、立ちだった。急カーブの連続するいろは坂で左右に揺られるのは  
厳しいだろう。

次回からは、JR 駅は歩いて 5 分程度だから。

JR 駅から乗車した方が良い。——教訓——





5分遅れで、中禅寺温泉バスターミナルに到着（10:25） 標高 1280m



10:30 登山準備を整え出発。二荒橋を渡って2, 3分進み、標識はないが、最初の右折路に入る。



右折して2, 3分で左手に「茶の木平半月峠線歩道」の看板があり、ここが登山口だった。（10:35）



茶の木平までは1.7Km で、登り始めは石段状の登りが続き、いきなり急斜面の洗礼を受ける。





登り始めて 20 分で、茶の木平まで 1 km 地点に来た。更に 10 分登ると眼下に、中禅寺湖が広がった。



クマザサの登山道を更に 10 分登ると、茶の木平まで 700m の標識がでてきた。(11:10)



11:30 茶の木平まで 120m まできた。更に進むと開けた場所に出て、後ろを振り返ると男体山の山頂が大きく聳えていた。ここが「茶ノ木平」(1605m)だった。当初の予定ではここで昼食だったが、30 分進めば展望台があるとのことで、更に進む。



茶の木平は「自然観察教育林」であり、第一展望台へは下りの連続になる。





12:02  
第一展望台に到着した。



展望台の階段に腰掛け昼食にする。日陰は風が冷たく涼しい、都会では味わえない。美味しい風だ！



ユックリ昼食を味わい、12:30 次の半月山に向かって、一旦下る。半月山まで3.2Km とあった。





下り初めて、2、3分で車道にでた。茶ノ木平バス停があり、ここから半月山の登りになる。  
半月山まで2.3Km と表示 ムム-----3分前には3.2Km とあったが？ どうなっている？



登りは急登の連続で息が上がる。

12:57 狸山（むじなやま：1622m）の山頂に達したが、展望もなく、  
そのまま、やり過ごし、再び下りに入る。下り始めると前方に半月山が現れた。



13:07 中禅寺展望台に到着。



中禅寺展望台からの写真。紅葉時には黄・赤の色彩で埋まる絶景ポジション





中禅寺湖展望台から半月山への最後の登りになり、案内図では 55 分とあり、既に 2 時間 40 分歩いており、最後の約 1 時間の急登は、非常にきつかった。  
全身汗まみれになって耐えて、耐えて山頂を目指す。



悪戦苦闘の末、14:09 半月山山頂（1753m）に到着した。三等三角点があった。



半月山山頂(1753m)は展望もなく、写真を撮って展望台へ向かう (14:10)





半月山山頂から下って 20 分で、  
半月山展望台に到着した



14:30 気温が上がり、モやって霞んでいた。しかし・・・



紅葉時期にはこのような景観が楽しめる、是非、秋に再度企画したい。





展望台から約 20 分で第二駐車場へ下山した（14:50）

ここから、15:15 のバスに乗り、中禅寺温泉に戻り、乗換えて東武日光駅に向かう。  
中禅寺温泉 15:50 に乗るバスは、湯元温泉出発で混んでいたが、幸いにも何とか座れた。  
後は、ステーションホテルの日帰り温泉で大汗を洗い流し帰る予定。

しかし、いろは坂を下り切ったところから渋滞が始まり・・・



東武日光駅にへ 20 分近く遅れ、これでは温泉に入る  
時間がない。しかしこの汗臭いままでは・・・



駅の多目的トイレに二人で入り、濡れタオルで汗を拭きとり着替えて、やっとサッパリした。



17:23 発の「けごん 44 号」に乗り、  
浅草へ・・・





早速、缶ビールで今日の成果に乾杯し・・・



結局、浅草駅では定番の神谷バーへ繰り出したが、1階、2階とも満席で入れず・・・



五反田の古里で一杯やって、やっと帰宅となりました。(20:30)

今回のコースは中禅寺湖、日光連山の展望が良く、秋紅葉の時期には半月山までのバスが運行され、再度挑戦したい。今回の逆コースが楽チンコースで良いかもしれない。  
お疲れ様でした。